

JEF 馬場馬術競技 M1課目 2013

時間 5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C S 左手前蹄跡に入る 左へ直径8mの巻乗り	10					修正、速歩の質、収縮、バランス 屈曲、巻き乗りの大きさと図形	
3.	SV VKA 左肩を内へ 収縮速歩	10					修正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
4.	A DE ESH 中央線上に入る 左へハーフパス 収縮速歩	10			2		修正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
5.	H M R 右へ回転 右へ回転 右へ直径8mの巻乗り	10					修正、速歩の質、収縮、バランス 屈曲、巻き乗りの大きさと図形	
6.	RP PFA 右肩を内へ 収縮速歩	10					修正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
7.	A DB 中央線上に入る 右へハーフパス	10			2		修正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
8.	BRMCH HP PF 収縮速歩 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					修正、エラスティシティー、バランス、 歩幅とフレームの伸展 後躯のエンゲイジメント	
9.		10					リズムの維持、 明確でスムーズな移行 フレームの変化	
10.	FAK 中間常歩	10					修正、背のサプルネス、活発さ、 肩の自由さ、	
11.	KR 伸長常歩	10			2		修正、背のサプルネス、活発さ、 フレームの伸展、肩の自由さ、 ハミへの伸展、オーバートラック	
12.	RM 収縮常歩	10					修正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の移行	
13.	M GH間 左へ回転 左へ半ピルーエット	10					修正、活発さ、 正しいコンタクト、4ビートの維持	
14.	GM間 右へ半ピルーエット	10					修正、活発さ、 正しいコンタクト、4ビートの維持	
15.	H MG(H)(M)GHC収縮常歩	10					歩幅の短縮と運歩の高揚 頭頸の体勢と運歩の修正	
16.	C CM 右収縮駢歩で発進 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
17.	MP PF 中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性、 明確でスムーズな移行	
18.	FD DB 右へ直径10mの半輪乗り 右へハーフパス	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、	
19.	BRMC 反対駢歩	10					駢歩の質と収縮、セルフキャリッジ、バランス	
20.	C CH シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					真直性、明確でスムーズな移行、 3~5歩の質の良い常歩、駢歩の質、収縮	

